

# JEITA 国際戦略・標準化セミナー

## —豊かな社会を拓くIoT・CPSのソリューションと標準化戦略—

社会にある様々な機器がインターネットにつながるIoT (Internet of Things)によって収集されたデータを解析し、現実社会にフィードバックするCPS (Cyber Physical System)によって、豊かな社会が拓かれると期待されています。

本セミナーでは、電子情報技術に基づくIoT・CPSを共通テーマとし、JEITAと関わりの深い医療・健康（ヘルスケア）、交通（ITS）、製造（三次元CAD）の各分野において、IoT・CPSへの取り組みと新技術・事業の普及に向けた標準化への取り組みや期待を専門家の方々にご講演頂きます。

日時：平成27年10月7日(水) 15:00～17:00

場所：幕張メッセ国際会議場 103会議室（1階）  
千葉県美浜区中瀬2-1 地図 <http://www.ceatec.com/ja/access/>

主催：一般社団法人 電子情報技術産業協会 標準化政策委員会／国際標準化戦略研究会

定員：120名（定員になり次第、締め切ります）

参加費：無料（ただし、事前申し込み制となります）

申込方法：「CEATEC JAPAN 2015」のサイトからお申し込みください。  
<http://www.ceatec.com/ja/conference/confDateList.html?date=2015-10-07>

事務局：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階  
一般社団法人 電子情報技術産業協会 知的基盤部 TEL 03-5218-1059 FAX 03-5218-1078

### Program

司会 小川 雅晴 国際標準化戦略研究会 主査（三菱電機㈱ 開発本部開発業務部 主管技師長）

#### システム標準に関する国際標準化の動向について

辻本 崇紀 氏  
経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課  
統括基準認証推進官

スマートグリッド、インダストリー4.0、IoT、Big Data、AAL (Active Assisted Living) などの、いわゆる「Cyber-Physical Systems (CPS)」の分野の取り組みについて、IEC、ISO、JTC1において国際標準化の検討が行われています。国際標準化の検討状況と今後の展望、国際標準化活動において日本が求められることについて解説します。

15:00～15:30

#### 地域包括ケアシステムとIoT

高木 良一 氏  
ソニー株式会社  
プロフェッショナル・ソリューション事業本部 FeliCa事業部  
事業戦略部 HCプロジェクト室

2025年までに、日本では3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という超高齢社会を迎えます。厚生労働省は、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進しており、2025年に向け、医療提供体制の再構築がはじまっています。その中で、地域包括ケアシステムにおけるIoTの重要性が高まっており、その期待される役割について考察します。

15:30～16:00

#### ITS専用周波数を活用した運転支援システム (ITS Connect)について

柴崎 裕昭 氏  
ITS Connect推進協議会 運営委員会 技術検討WG 主査  
バイオニア株式会社 商品統括部 事業戦略部  
先行企画部 副参事

ITS Connect推進協議会は、交通事故の削減、渋滞の緩和等に資するITS専用周波数を活用した運転支援システム (ITS Connect)に関する技術の検討と運用支援を行い、安心・安全な交通社会の実現に貢献することを目的として設立されました。本講演では当協議会の活動状況および車間通信メッセージ仕様について紹介します。

16:00～16:30

#### 3DAモデル/DTPDを活用したものづくりプロセスの革新と関係する標準化動向

藤沼 知久 氏  
JEITA三次元CAD情報標準化専門委員会 副委員長  
東芝インフォメーションシステムズ株式会社  
エンジニアリングシステム・ソリューションオフィス  
CAE・CAD技術センター 参事

近年、CPSがものづくりへ適用され、計測・製造での効果が期待されています。その中核が3D設計情報定義[3DAモデル:3D Annotated Model (三次元製品情報付加モデル)]とものづくり活用[DTPD:Digital technical product documentation(デジタル製品技術文書情報)]です。三次元CAD情報標準化専門委員会における3DAモデル/DTPDの標準化と検証の活動状況と成果を紹介し、課題を考察します。

16:30～17:00